

庄内緑地の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	名古屋市みどりの協会・ミズノグループ		
主な業務内容	庄内緑地の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市西区山田町大字上小田井字敷地3527		
評価対象期間	令和4年4月～令和5年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置	大学をはじめ、ボランティアや官公庁（庄内川河川事務所や、西区役所、出初式における消防署など）と連携した植物管理、イベント、展示など積極的に実施した。
		緊急時の体制	
		人材育成等	
2 協働	市民等との協働	◎	
	1 維持管理	園内清掃	
建物・設備の管理		◎	
保守・点検・修繕		○	
植物管理		◎	
管理水準の維持		◎	
関係書類の調製・保管		○	
2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	来園者が安心・安全に公園を利用できるよう要望に応じて、防犯カメラを設置した。
	利用者ニーズの把握と反映	○	
	利用者サービス向上策	○	
	接客・接客向上の取組み	○	
	苦情・要望に対する適切な処理	◎	
	個人情報の適切な管理	○	
3 この施設特有の管理	緑の普及・啓発事業への取組み	○	遊水地である特有性から、災害に対する防災啓発の取り組みとしてなごや防災ボランティアとの連携による展示や、庄内川河川事務所との連携による見学ツアー等を行った。 天候によるレンタサイクルの実施可否について、SNSにて情報提供を行った。
	めざす公園像への取組み	○	
4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	
	イベント等の実施	◎	
	講習会等の実施	○	
	利用者への広報・情報提供の実施	◎	
5 収納金の処理業務	利用者数の増加	○	
	現金等の取扱い	○	
	関係書類の調製・保管	○	
	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○
集客対策への効果		○	
自主事業の収支及び還元		◎	
便益施設の管理運営		◎	
収支	1 収支	経費節減策	○
		年間収支	○
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○
		事業計画との比較分析	○

【総合評価】

庄内緑地の「顔」となっているバラについて、専門業者からの情報を参考に、研鑽をかさね、施設に向けた品種を新たに導入した。
 なごや防災ボランティアとの連携による展示や、庄内川河川事務所との連携による見学ツアー等により、水害に対する防災啓発の機会を提供し、遊水地としての特有性を発揮できた。
 自主事業の貸ポート事業については、老朽化したポートを他公園からの寄贈により入れ替えるなど経費削減の工夫がみられた。駐車場管理運営については、警備員の増員対応、精算機補助、臨時精算所の開設等により出庫渋滞の解消に努めた。また、駐車場収入は過去最高となり、計画を上回る収益還元を行った。

施設の現状

庄内緑地

施設の現状	施設概要							
	<p>庄内緑地は、庄内川の小田井遊水地を利用した公園で、昭和43年12月の都市計画事業認可以来「水と緑と太陽」をテーマに、野趣あふれる総合公園として整備を進めてきました。</p> <p>緑地内には、約3.5haある市内有数の芝生広場を中心に、わんぱく広場、バラ園、ピクニック広場、シンボルツリー(ケヤキ)などがあります。</p> <p>庄内緑地グリーンプラザは、余暇時間の増大、高齢化社会の到来など社会情勢の変動に伴い健康の維持増進や緑への関心が高まっている状況をふまえ、庄内緑地の核となる施設として建設されたものです。緑豊かな環境のなかで、自然とふれあいながら健康運動ができる室内広場のほか、温室、緑の相談コーナーなどの緑化普及啓発施設を併せ持つユニークな複合的施設です。</p>							
	市の収支状況(千円) (4年度決算見込み額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
142,289	-	142,289	10,603	-	131,686	142,289	-	
特記事項								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	講習会受講者数	人	5,140	2,048	3,071	3,040		
	入館者数	人	440,171	389,683	497,645	491,489		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載